



新年の御挨拶

岡山県警察本部生活安全企画課長 中西 豊

令和6年の年頭に当たり、皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

自主防犯パトロール隊の皆様には平素から、警察業務の各般にわたり深い御理解と御協力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、県内の治安情勢ですが、県民総ぐるみで継続的な犯罪抑止対策に取り組んできた結果、刑法犯認知件数は、戦後最多となった平成14年以降、令和3年まで19年連続で減少するなど、相応の成果が見られました。

しかしながら、令和4年中は、前年対比で増加に転じ、令和5年も同様に増加しているほか、高齢者を中心に被害が多発している特殊詐欺をはじめ、サイバー空間を利用した犯罪、子供や女性・高齢者を狙った犯罪、さらにはSNS等における犯罪実行者募集に応募した若者による事件が発生する等、県民を取り巻く治安情勢は依然として予断を許さない状況にあります。

県警察といたしましては、県民の皆様が真に「安全・安心」を実感できる社会の実現に向け、各地域の安全の要となる自主防犯パトロール隊の皆様方や、事業者、自治体等の関係機関・団体との連携を強化し、地域ぐるみによる総合的な犯罪抑止対策をより一層推進していく所存であります。

結びに、皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

1 犯罪発生状況

(1) 刑法犯の発生状況

令和5年中の県内の刑法犯認知件数（暫定値）は9,231件となり、前年と比較して1,224件の増加となっており、自転車盗、車上ねらい、万引きなどが多く発生しています。

自転車盗の約7割、車上ねらいの約5割、家屋等から金品を盗まれる侵入窃盗の約5割が無施錠、無締まりで被害に遭っています。

防犯の基本は鍵かけです。

地域ぐるみで自転車等の鍵掛けや、自宅の施錠の徹底を呼び掛けていきましょう。

○ 過去6年間の推移

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
認知件数	9,509	9,436	7,832	7,535	8,007	9,231
増減数	-1,596	-73	-1,604	-297	472	1,224
増減率	-14.4%	-0.8%	-17.0%	-3.8%	6.3%	15.3%

(2) 特殊詐欺の発生状況

令和5年中の特殊詐欺被害認知状況は、認知件数182件、被害額約6億780万円で、前年と比べて認知件数は23件増加、被害額は約2億9,140万円の増加となっています。

	R5.12末			R4.12末			前年同期比		被害額			
	既遂	未遂	計	既遂	未遂	計			R5.12末	R4.12末	前年同期比	
オレオレ詐欺	17		17	12		12	5	41.7%	約4,440万円	約6,910万円	約-2,470万円	-35.8%
預貯金詐欺	29	4	33	44	2	46	-13	-28.3%	約9,300万円	約5,120万円	約4,190万円	81.9%
架空料金請求詐欺	53	1	54	29		29	25	86.2%	約2億6,940万円	約5,030万円	約2億1,920万円	436.0%
還付金詐欺	53		53	43		43	10	23.3%	約8,410万円	約3,800万円	約4,620万円	121.6%
融資保証金詐欺	3		3	7		7	-4	-57.1%	約770万円	約2,000万円	約-1,230万円	-61.4%
金融商品詐欺	7		7	1		1	6	600.0%	約8,970万円	約4,250万円	約4,720万円	111.1%
ギャンブル詐欺												
交際あつせん詐欺												
その他の特殊詐欺	2		2				2		約270万円		約270万円	
キャッシュカード詐欺盗	12	1	13	21		21	-8	-38.1%	約1,670万円	約4,540万円	約-2,870万円	-63.1%
合計	176	6	182	157	2	159	23	14.5%	約6億780万円	約3億1,640万円	約2億9,140万円	92.1%

手口として多いものは、

- 「預貯金詐欺」
警察官や銀行協会の職員などを装い、「口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要」などの名目でキャッシュカードなどをだまし取る手口
- 「還付金詐欺」
税金還付などに必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により財産上不法の利益を得る手口
- 「架空料金請求詐欺」
未払いの料金があるなど架空の事実を口実とし、金銭などをだまし取る手口
- 「オレオレ詐欺」
親族、警察官、弁護士等を装い、親族が起こした事件・事故に対する示談金などを名目に金銭等をだまし取る手口
- 「キャッシュカード詐欺盗」
警察官や銀行協会などの職員を装って被害者に電話を掛け、「キャッシュカードが不正に利用されている」などの名目でキャッシュカードなどを準備させ、隙を見てキャッシュカードなどを盗む手口です。
電話、メール、はがきなどでお金の請求やキャッシュカードに関する電話があれば、一人で判断せず、必ず家族や警察に相談しましょう。
また、留守番電話機能の活用、防犯機能付き電話の設置などの被害防止対策を心掛けてください。

2 犯罪の起きにくい社会づくり推進・応援企業の活動紹介

岡山県警察では、企業の社会的責任（CSR）として防犯活動に取り組む企業に、「犯罪の起きにくい社会づくり推進・応援企業」への参加を呼び掛けています。

令和5年末現在、自ら主体的に身近な防犯活動を実践する「推進企業」に2,442事業所、地域の防犯ボランティアを支援する「応援企業」に190事業所がそれぞれ参加しており、各種防犯活動に取り組んでいます。

参加事業所については、県警察ウェブサイトに掲載していますので、お近くの「推進・応援企業」とも連携して地域における防犯ボランティア活動の輪を広げていきましょう。

